

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2019年 2月26日

事業所名:児童デイサービス太陽

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
			はい	どちらともいえない	いいえ		
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	機能別に部屋の役割を設けていますが、利用人数増により、屋内での活動にはどうしても限界があります。グループに別れ、畑や公園、散歩に出るなどの工夫をしています。	10	14	0	指定基準の一人あたり2.47㎡は確保していますが、手狭に感じるのは事実です。配置や収納を工夫し、のびのび過ごせるように努めてまいります。
	2	職員の適切な配置	現在職員は、児童発達支援管理責任者1名、児童指導員5名、指導員3名合わせ9名が在籍しております。日々、指定基準に基づき配置しています。	17	8	0	送迎等で職員数に変化があります。一人一人が責任を持ち支援させていただいています。また、送迎中も事故がないよう、複数で対応する場合があります。安心してご利用いただけるよう、必要な増員など今後も行なっております。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	玄関に手すりはありますが段差があります。低学年の子もいるので、低い段を設けてはいますが、バリアフリー化は完全ではありません。	6	17	0	室内の段差の部分はスロープを後付けして対応しております。躓きそうな場所は考慮していますが完全ではありません。今後も検討を重ね、安心していただけるよう努めてまいります。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	タオル類を全て撤去し、使い捨てのペーパータオルで手を拭いたり、食器を拭いたりしています。衛生面に配慮しています。児童がトイレへ入った後も必ずチェックをし、少しでも汚れていれればすぐに掃除をしています。	/			
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々の職員全員が参加するミーティングで、活動に対する反省と改善案の意見を出し合い、業務改善を図っています。共通の認識を持って全員が支援できるようにしています。	/			
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者による外部評価は実施していませんが、項目は確認しています。当事業所に寄せられたご意見やご要望に対しては、その都度検討し業務の改善に取り組んでいます。	/			
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	研修案内など職員に提示しています。外部研修で意識の向上、スキルアップを行なっています。	/			
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもと保護者の希望を確認し、相談支援員からのサービス利用計画を確認後、児童発達支援管理責任者が原案を作成しています。その原案に対し、職員からの意見を取り入れ作成しております。	23	1	0	保護者へ普段の様子がわかるように記録をしっかり行ないます。また、送迎や面談時等で家に帰ってからの様子、他事業所での様子をお伺いし、支援に繋げていきます。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせた放課後等デイサービス計画の作成をしています。	/			
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	放課後等デイサービス計画には、支援に必要な項目を設定し、具体的な支援内容を明記しています。	/			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 t (続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	保護者の意見や実際の子どもの様子等を見て変更をする場合もありますが、計画に沿って適切に行なっています。子どもの個人ファイルに各自入っているのでも確認できるようになっています。				
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	天気や畑での作物の成長を勘案しながらその日のプログラムを決めたり、工作物やイベントなど職員で話し合い立案しています。進捗も含め確認しあっています。				
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	サービス提供時間によって支援内容を変えています。季節や寒暖なども含め、子ども達の意見を聞きながら支援内容を考えています。				
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	固定化しているからこそ安心して続けられている場合があるので、一概には言えませんが、次の段階へチャレンジをしたりしています。形が変わっても問題なく取り組められるように工夫しています。	19	5	0	子ども第一で考えています。少しでも笑顔を見せて欲しいと思います。固定化されているからこそできることもあるのでそれはそのままです。できることを増やしていくために、次にチャレンジできるよう、提案、工夫をしていきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日支援開始前に職員全員が集まり、担当送迎やおやつ、支援内容、最近の体調、送迎の際に保護者から聞いたことなど、話し合い確認しています。				
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後に支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有を行なって、次の支援に繋げています。				
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の支援を個別記録に記録しています。子どもの成長過程や現状を把握でき、支援の検証や改善に繋げています。				
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的なモニタリングを実施しています。モニタリング結果をふまえ放課後等デイサービス計画の見直しを行なっています。				

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	/			
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	/			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	/			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	/			
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	/			
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	/			
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	3	11	10	「交流についてはどちらでもいい」と保護者の意見があります。全員でというのは難しいと考えているので、少しずつ門戸をあけていきたいと思えます。地域行事、お祭り等から参加していきたいです。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	/			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明しています。負担額の変更があった場合、上限管理が変更となった場合など必要に応じて説明しています。	24	0	0	今後も継続して行なっていきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	日々の送迎等でも説明する場合があるので支援計画を常に示しながら説明はできていませんが、面談の時に説明させていただいています。				
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在ペアレント・トレーニングは行なっていませんが、保護者から相談があれば一緒に考えて、支援しています。				
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	日々の送迎等で保護者に様子や支援内容をお伝えさせていただいています。連絡帳や電話、メール等を通して共通理解に努めています。				
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談や助言は保護者が希望した場合に応じています。普段の面談より時間が多く取れたり、より深く知るきっかけになり、こちらもありがたいと思っています。	22	2	0	今後も継続して行なっていきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在保護者同士の連携支援は行えていません。何度か考えているのですが、子ども達が来所していない時と考えると、平日の午前中になってしまい、なかなか一歩が踏み出せていません。	3	7	14	過去に芋ほりイベントを開催したときがありましたが、駐車スペースの関係等で今は難しいと感じてしまい動けていませんでした。何か形として進めていけたらと考えています。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情窓口は契約書に明記しています。対応体制の整備も整っていますが、周知が不十分だと感じています。	18	5	0	周知をさせていただきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	子どもに対しては保護者にアドバイスをもらいどうしたらいいかと個々にご相談をさせていただきながら支援しています。	22	2	0	今後も継続して行なっていきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月、「たいよう通信」という活動内容を記載した会報を発行しています。子どももみて楽しめるものであると思います。ホームページの更新は滞っているので再開したいと思います。	21	2	1	ホームページも更新し、ブログも再開したいと思います。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の取扱いには十分な配慮をしています。情報の保管場所は鍵付きのロッカーに保管しています。保護者全員に子どもが会報での顔出しが大丈夫かどうかの承諾を得ています。	20	4	0	今後も継続して行なっていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種対応マニュアルは用意してあります。ただし、常に手の届く所に置いていなかったため、置くようにします。保護者への周知もできていないので至急行ないたいと思います。	8	13	4	周知させていただきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	明石市消防本部に依頼し、立会のもと火災の場合の避難訓練は行いましたが、その日利用した子どもしか、実際に行なえていません。職員は普段から意識するようにしています。他の曜日でも行ないたいです。	4	14	5	消防車の中を見せてもらったり、水消火器を手に消火訓練を行い、実際に火元を決めて避難したりと、遊びの中で避難訓練をしています。他の曜日でもできるように考えていきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	普段からテレビや新聞でニュースになる度に話し合っています。研修や資料等で知識をつけています。虐待が疑われるときは、関係機関と連携をとり適切に対応したいと考えています。	/			
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束は行なっていません。ただし、身体的拘束等適正化のための指針を施設内研修として確認しあっています。	/			
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	医師からの指示書はありませんが、保護者から聞き取りを行い十分に注意を払っています。子どもが飲んでる薬がかわった時などは、食べ合わせも含めて調べています。	/			
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットの報告書は作成しています。共有をしてお互いに再度認識することにしていきます。事故のないように徹底しています。	/			